



Company  
Profile

Core  
product

'19/3  
Financial  
Summary

Target

Arch2020  
Progress

Management  
Policy

18/4-19/3

**オカダアイヨン** 株式会社

第60期決算説明会

常務取締役 前西信男

2019/5/15

## 会社概要

( ' 19/3期末 )

会社名

オカダアイヨン株式会社



創業

1938年7月 ( 設立1960年 )

本社

大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号

市場

東証一部 ( 6294 )

資本金

2, 221百万円

売上高

17, 866百万円

事業内容

建設機械及び林業機械の製造、販売、修理

従業員

432名 ( ' 19/3期末 )

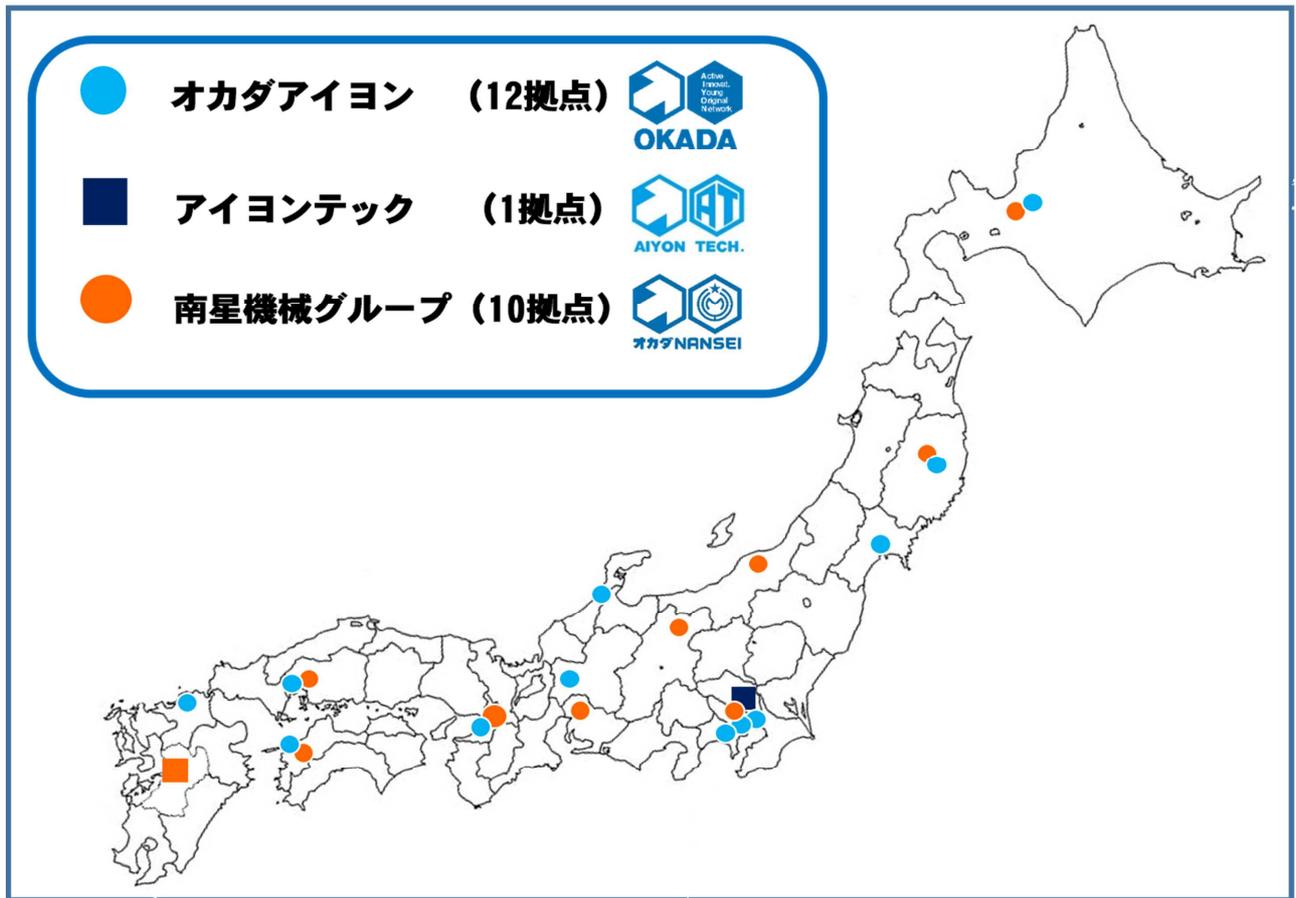
決算期

3月31日

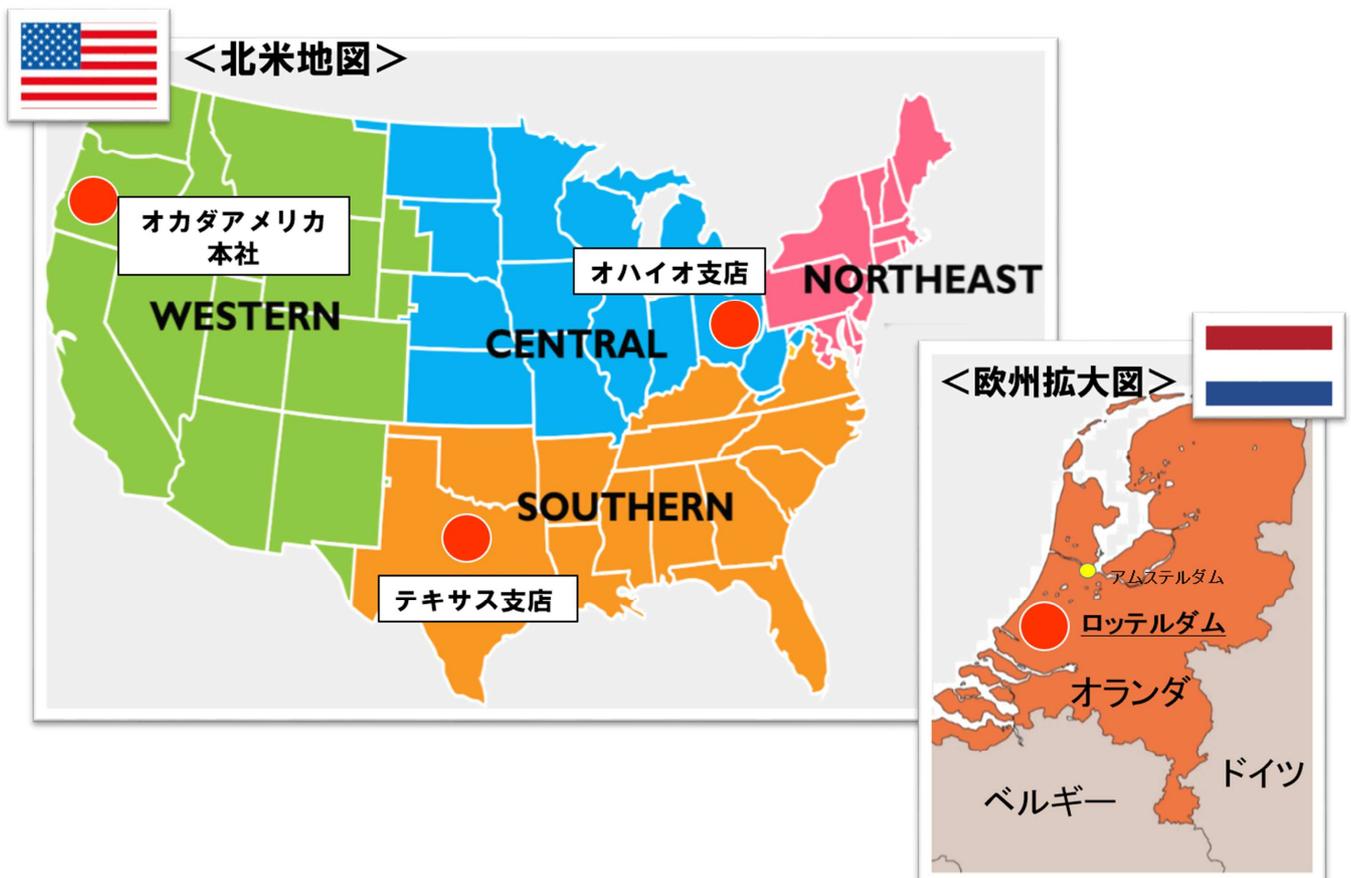
発行株式総数

8, 378, 700株

# 国内拠点

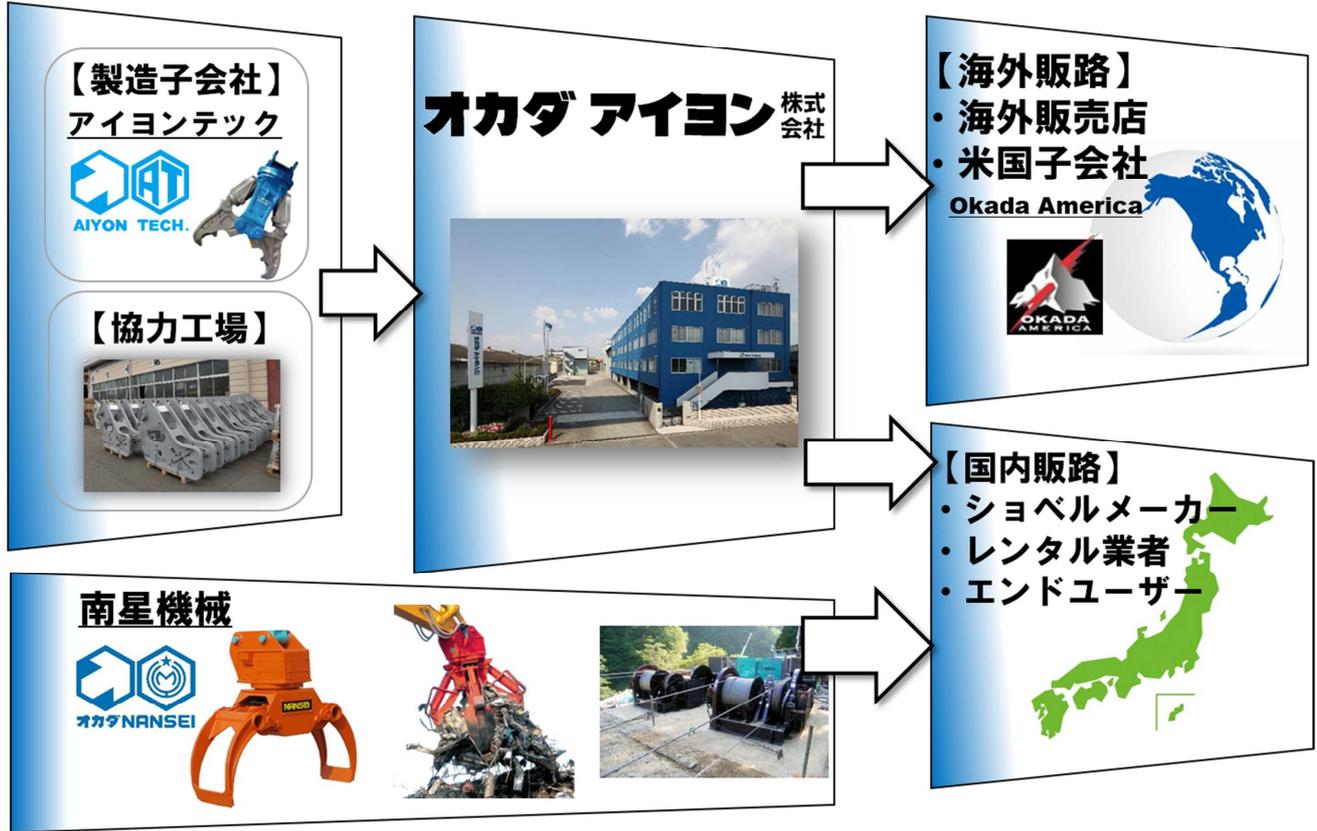


# 海外拠点



# 事業概要

<製造・調達> <開発・販売・修理>



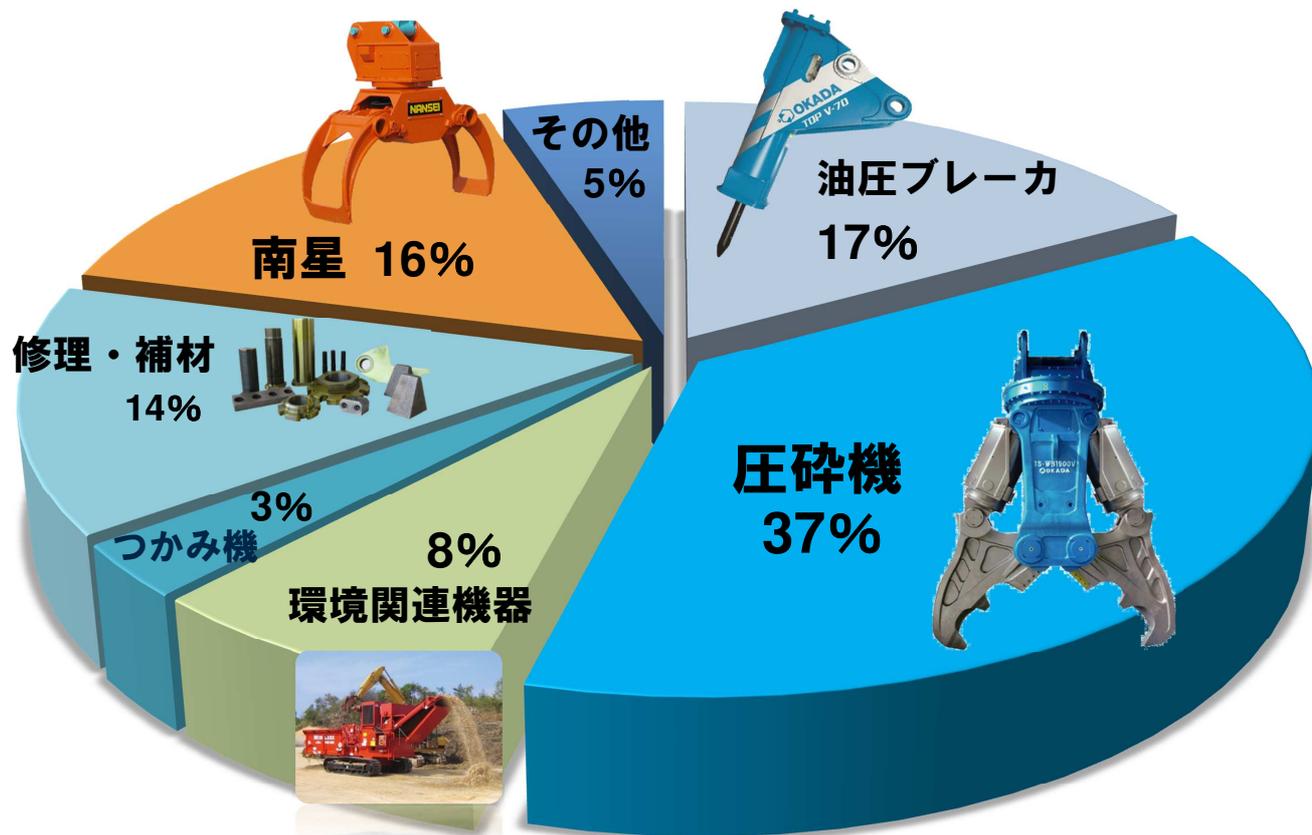
# 主力商品紹介

解体アタッチメント  
(油圧ショベル先端部分)



環境機械  
(木材破砕機・林業機械)

# 売上構成比



※ 2018年4月～2019年3月 当社売上構成比

# 国内主力商品シェア

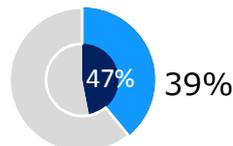
日本建設機械工業会発表資料をもとに当社作成  
首都圏：東京、神奈川、埼玉、千葉



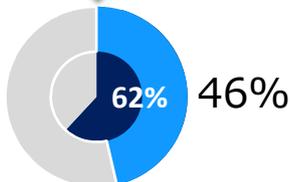
## 大割機



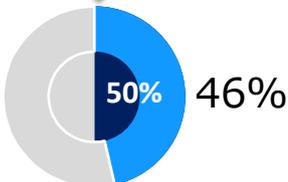
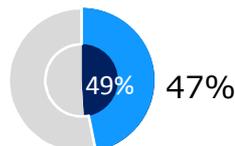
15年度



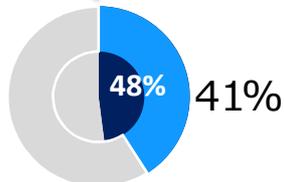
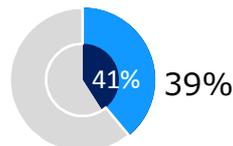
18年度



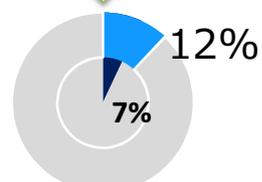
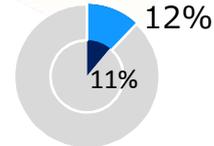
## 鉄骨カッター



## 小割機



## 油圧ブレーカ



# 南星主力商品



林業用グラップル



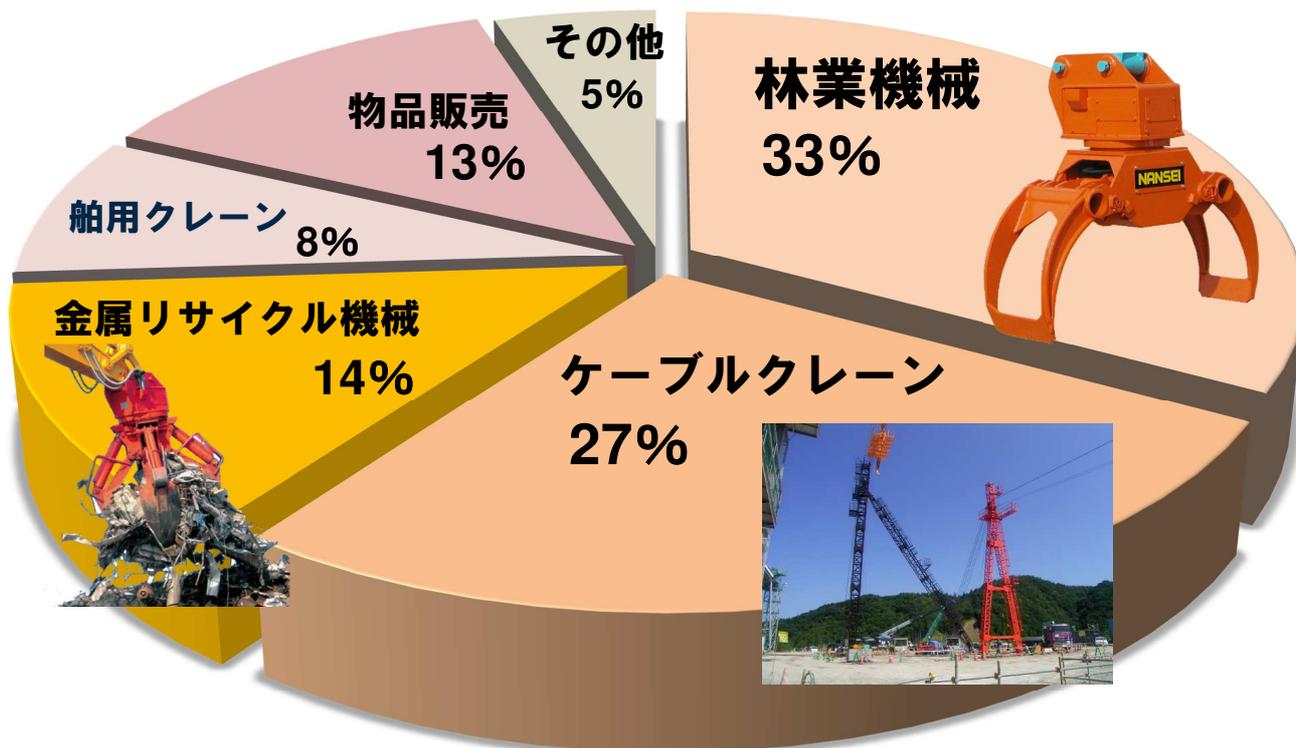
ダム建設用ケーブルクレーン



ウインチ

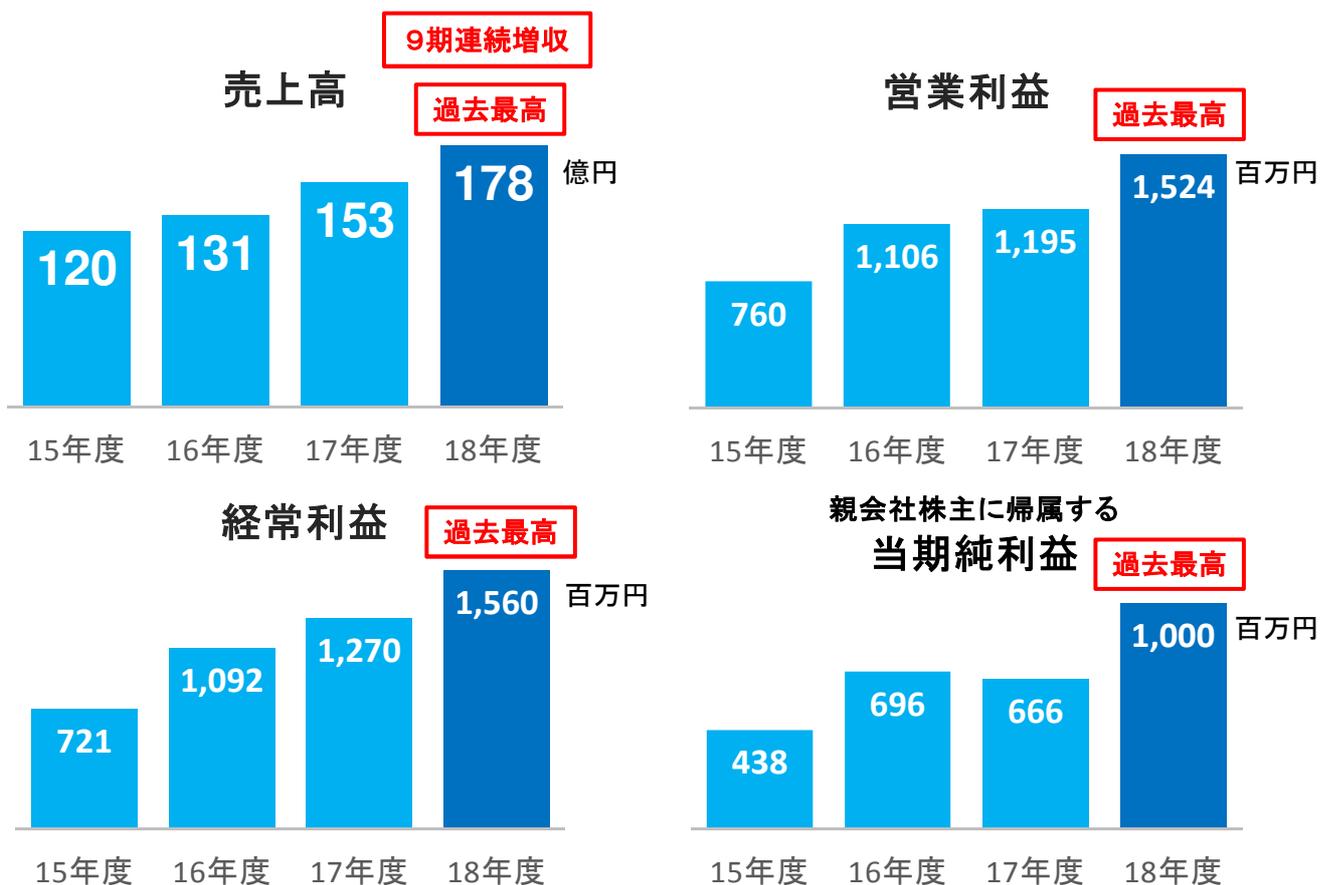
9

# 南星売上構成比



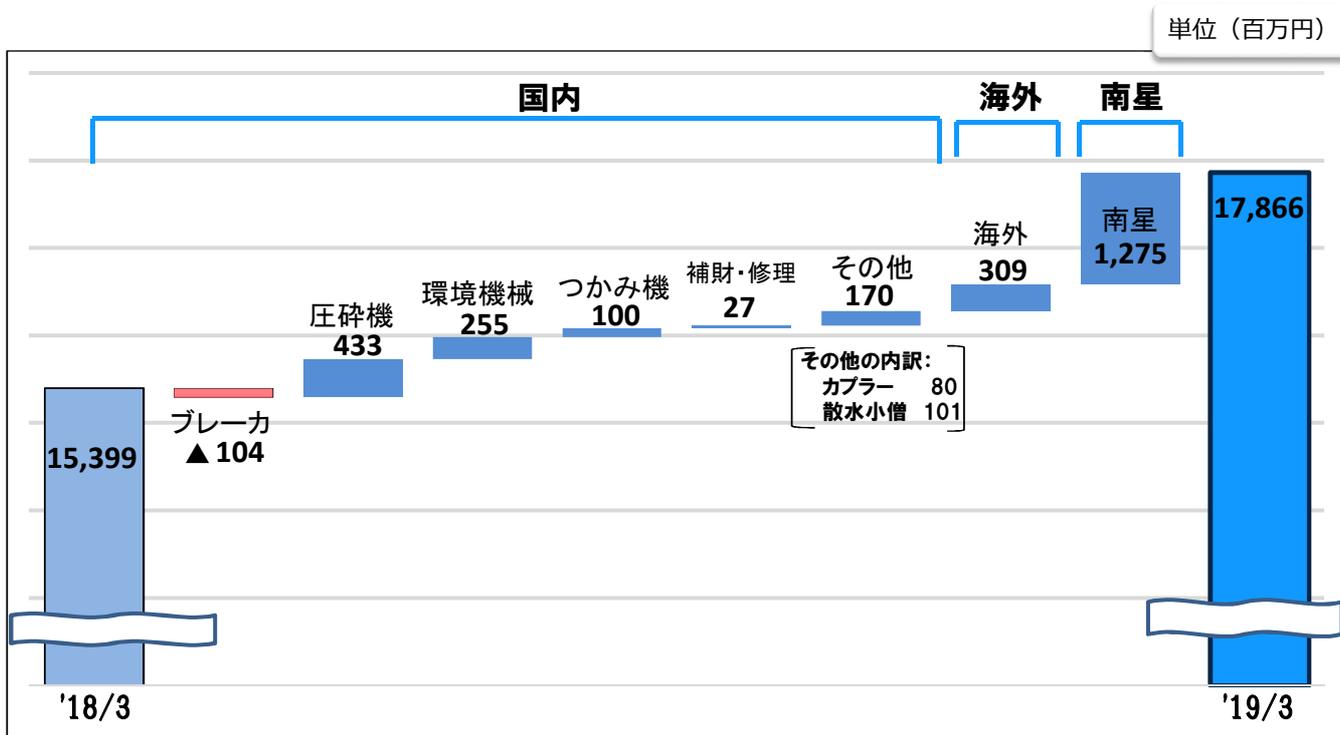
※ 2018年4月～2019年3月 当社売上構成比

# 業績サマリー



## '19/3期末 売上高増減要因

- 国内は、旺盛な再開発・建替え需要を背景に、生産体制の強化が寄与し、主力圧砕機が好調
- 海外は、北米の営業力強化・欧州での代理店増加もあり売上増



## 機種別売上推移

単位（百万円）

	'17/3期	'18/3期	'19/3期	前期比	同率(%)	'17/3期比(%)
ブレーカ	706	943	838	▲104	▲11.1	18.7
圧碎機	5,480	5,875	6,309	433	7.4	15.1
環境機械	1,781	1,147	1,402	255	22.3	▲21.3
つかみ機	569	491	591	100	20.4	3.9
補材・修理	1,891	1,991	2,018	27	1.4	6.7
その他	591	667	838	171	25.6	41.7
国内計	11,018	11,114	11,996	882	7.9	8.9
海外計	2,095	2,752	3,061	309	11.2	46.1
南星計	－	1,532	2,808	1,275	83.2	－
連結計	13,113	15,399	17,866	2,467	16.0	36.2

13

## 地域別売上推移

単位（百万円）

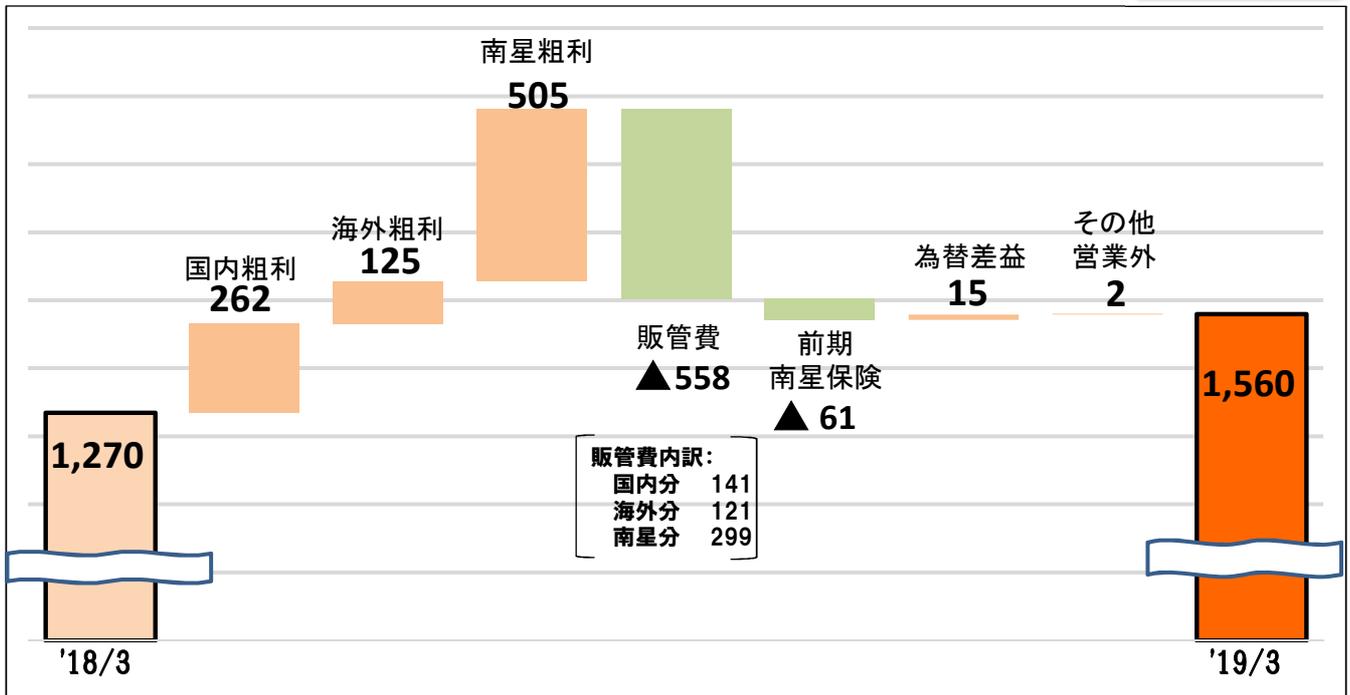
	'17/3期	'18/3期	'19/3期	前期比	同率(%)	'17/3期比(%)
北海道	487	426	532	106	24.9	9.2
東北	1,468	1,400	1,413	13	0.9	▲3.7
関東	3,716	3,701	3,924	223	6.0	5.6
中部・北陸	1,321	1,351	1,592	241	17.8	20.5
関西	1,207	1,287	1,586	299	23.2	31.4
中国・四国	1,027	846	1,086	240	28.4	5.7
九州	1,492	1,784	1,529	▲255	▲14.3	2.5
その他（本社営業部扱）	299	318	329	11	3.5	10.0
国内計	11,018	11,114	11,996	882	7.9	8.9
海外計	2,095	2,752	3,061	309	11.2	46.1
南星計	－	1,532	2,808	1,275	83.2	－
連結計	13,113	15,399	17,866	2,467	16.0	36.2

14

# '19/3期 経常利益増減要因

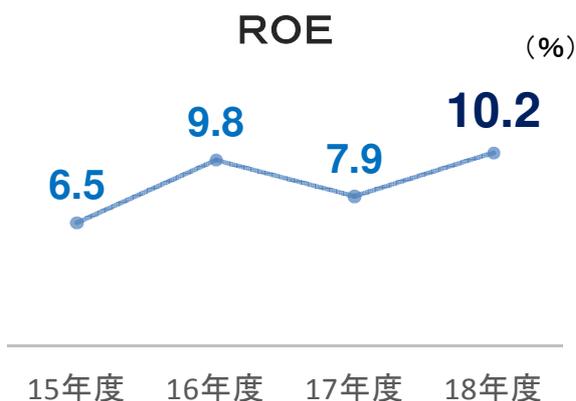
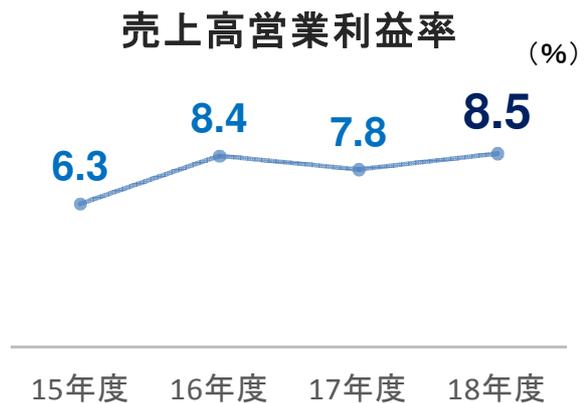
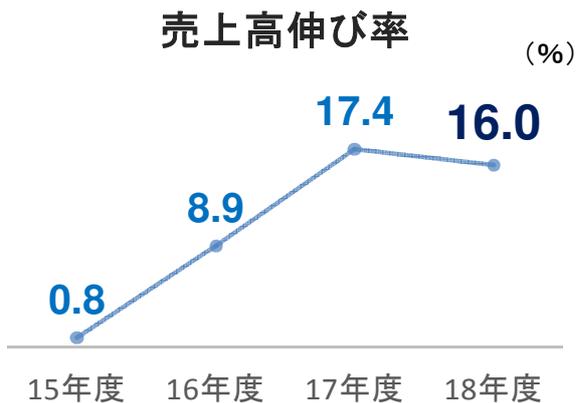
- 国内・海外・南星粗利は販売増加に伴い増加
- 販管費は南星の通年連結寄与等に伴い増加

単位 (百万円)



15

## 業績サマリー



16

# 中長期経営計画骨子

## 「アーチ2020作戦」(2015年度～2020年度)

トリプル2

×

トリプル10



トリプル1

営業目標 <b>トリプル 2</b>		財務目標 <b>トリプル 10</b>	
① 連結売上高	2倍(200億円)	① 売上高伸び率	10%以上
② 主要製品国内シェア	2割アップ	② 売上高営業利益率	10%以上
③ 海外売上高	2倍	③ 自己資本利益率(ROE)	10%以上

### 全社目標 **トリプル 1**

〔一流〕 一流のプロ集団 による

〔一級〕 一級の製品・サービス により

〔一強〕 業界 NO. 1 の企業グループを目指す

17

## 経営目標の進捗度

億円

	15年度	16年度	17年度	18年度		自己評価
				計画	実績	
売上高	120.4	131.1	153.9	175.0	<b>178.6</b>	○
国内	97.3	110.1	111.1	114.5	<b>119.9</b>	○
海外	23.1	20.9	27.5	30.5	<b>30.6</b>	○
南星	-	-	15.3	30.0	<b>28.0</b>	△
売上高伸び率	0.8%	8.9%	17.4%	13.6%	<b>16.0%</b>	○
売上高営業利益率	6.3%	8.4%	7.8%	8.6%	<b>8.5%</b>	○
ROE	6.5%	9.8%	7.9%	9.5%	<b>10.2%</b>	○

18

# 2019～2020年度運営方針

コーポレートスローガン 3つのC

**CONNECTED  
CHANGE  
CHALLENGE WITH CHECK**

新しいつながりをより深め、シナジーの見える化を図る  
変化に対応する・変わる・変える  
志を高く新たに挑戦、ただしチェックを怠らず

## 基本施策 OKADA八策

- マーケット施策
- ① 南星グループとの融合と化学反応
  - ② 協力会社も含めた生産能力の増強による売上拡大
  - ③ アフターマーケットの増強による安定収益確保
  - ④ 海外市場の拡大

- 経営基盤施策
- ⑤ 働き方改革—従業員エンゲージメントの向上
  - ⑥ 新基幹システム導入による生産性・効率性の向上
  - ⑦ 長期持続的な人財力の強化
  - ⑧ コンプライアンスとリスク管理の強化

## 業績目標(2020年度)

売上高	200億円
営業利益	20億円
売上高営業利益率	10.0%
ROE	10.8%

## 投資計画(2019～20年度)

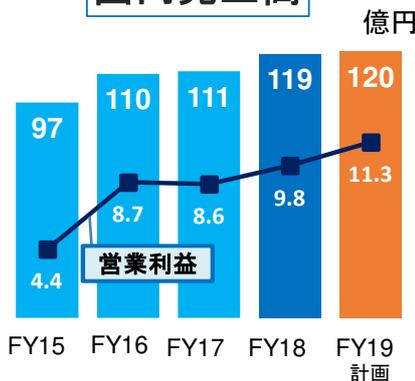
主な投資	営業店所の移転新設・増改築	投資計画 (2カ年合計)  20億円
	工場増産設備投資	
	海外拠点の設置・拡充(欧州、アジア)	
	新基幹システム導入	

19

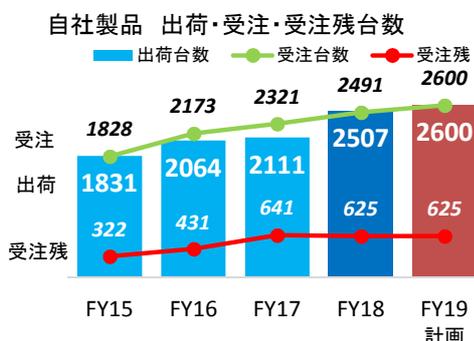
## 主要施策 国内セグメント

### 旺盛な解体需要に対応した生産強化と営業拠点充実

#### 国内売上高



#### 生産増強

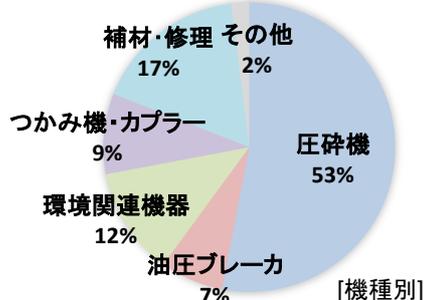


#### 増産体制

16年度に増設したアイオンテック朝霞工場が本格稼働するとともに、協力会社との連携を進め、自社製品(自社生産・外注生産)の増産体制を整備。18年度からは南星機械との生産協力も部分的に実施。グループ全体での生産増強と生産最適化を図る。

自社製品: 圧碎機、つかみ機、カブラー、散水小僧など  
本社機械部及びアイオンテック製造品

#### 売上構成



#### 営業拠点充実



#### 営業拠点・修理工場増強

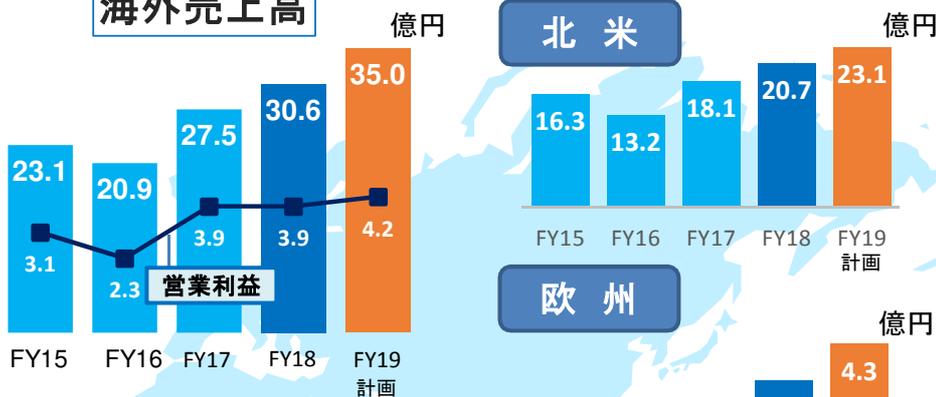
旺盛な解体需要に対応した圧碎機の大型化が進む中で、各営業所の修理工場の設備が追い付いていなかったため、順次建替え、拡張等を実施中。19～20年度に、本社・関西支店の修理棟建替え、四国営業所、横浜営業所の移転新設を計画。

20

# 主要施策 海外セグメント

## 北米、欧州、アジア3極体制による海外展開強化

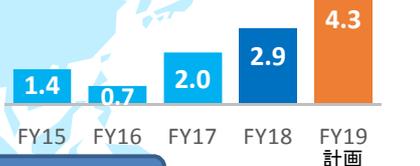
### 海外売上高



### 北米



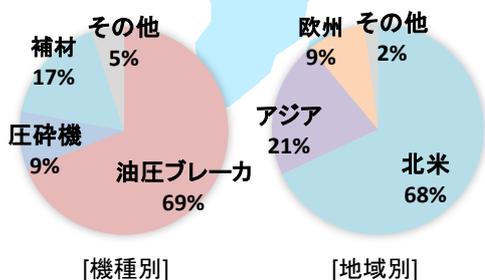
### 欧州



### アジア



### 売上構成



### 更なる営業強化

営業戦力の増強とスキルアップにより新規ディーラー開拓と、圧碎機等の商品ラインアップの拡大を図る。

### オランダ拠点拡充

17年開設のオランダ駐在員事務所を19年度中に現地法人化の予定。現地採用も進め欧州開拓を加速。

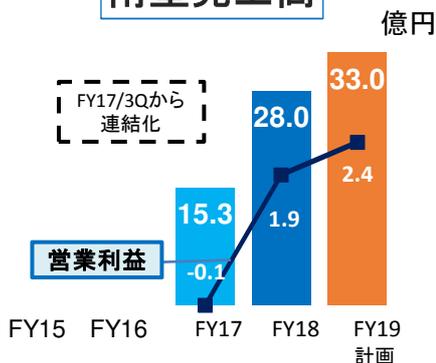
### タイ拠点新設

東南アジア重点開拓に向けた市場調査と代理店サポートのため、19年度中にタイ駐在員事務所を開設。早期に現地法人化を目指す。

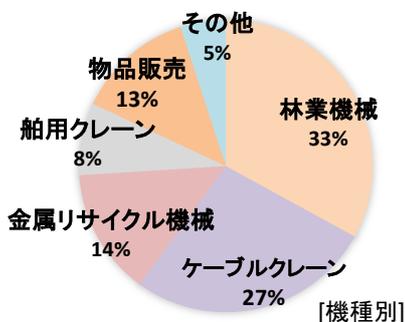
# 主要施策 南星セグメント

## オカダ・南星の融合～化学反応による統合効果実現

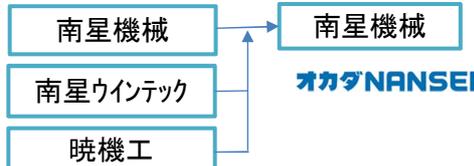
### 南星売上高



### 売上構成



### 3社合併



### 合併による経営合理化

19年4月に、南星機械を存続会社として南星グループ3社を合併。今後は基幹システムの導入を柱に経営合理化を推進。会社呼称は「オカダNANSEI」に変更。

### 商品・生産体制見直し



### 商品改良

主力のグラップル、ウインチを競争力ある新型に改良。その他製品も見直し実施。

### 生産体制見直し

標準モデルの計画生産導入や原価管理の見直しにより生産性と採算性改善を図る。

### オカダとの統合・協力

オカダアイオン株式会社 × オカダNANSEI

南星製品の販売協力

オカダ製品の製造協力

### 製造・販売の相互協力

オカダ製品の一部を南星機械が製造。

南星機械の営業力、及びメンテナンス対応の補完のため、一部地域で南星機械製品をオカダアイオンが窓口となり販売。

# <参考> 環境との関わり

## 環境と関わる当社グループの主力機械

### 解体アタッチメント

～環境とリサイクルに配慮したビル解体用建機～



### 林業機械

～作業効率化で森林再生・林業再生に寄与～



### 金属リサイクル機械

～金属リサイクル工場内の荷役作業を効率化～



### 大型木材破碎機

～バイオマス発電用チップ製造や産廃処理等～

ケーブルクレーン  
～水力発電所工事・防災工事等の資材運搬設備～



## 計数計画

### 進捗状況

(百万円)

	中期経営計画 1stステージ			中期経営計画 2ndステージ		
	15年度実績	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度計画	20年度計画
売上高	12,043	13,113	15,399	17,866	18,800	20,000
営業利益	760	1,106	1,195	1,524	1,750	2,000
経常利益	721	1,092	1,270	1,560	1,750	2,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	438	696	666	1,000	1,120	1,280
海外売上高	2,313	2,095	2,752	3,061	3,500	4,000
海外売上比率	19.2%	16.0%	17.9%	17.1%	18.6%	20.0%

# 計数計画

## 計画対比

[計画比・当初比] 上段: 中期経営計画(2ndステージ)対比('18年作成)  
下段: 当初アーク2020作戦計画対比 ('15年作成)

(百万円)

	中期経営計画 2ndステージ					
	18年度 実績	計画比	19年度 計画	当初比	20年度 計画	当初比
売上高	17,866	+366 +1,366	18,800	+300 +800	20,000	0 0
営業利益	1,524	+24 ▲26	1,750	+50 0	2,000	0 0
経常利益	1,560	+60 +10	1,750	+50 0	2,000	0 0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000	+70 +50	1,120	+70 +70	1,280	+30 +80

25

# 計数計画

## 財務指標・配当

	目標	中期経営計画 1stステージ			中期経営計画 2ndステージ		
		15年度 実績	16年度 実績	17年度 実績	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画
売上高 伸び率	10.0%	0.8%	8.9%	17.4%	16.0%	5.2%	6.4%
売上高 営業利益率	10.0%	6.3%	8.4%	7.8%	8.5%	9.3%	10.0%
ROE	10.0%	6.5%	9.8%	7.9%	10.2%	10.5%	10.8%
配当性向	—	34.6%	22.8%	25.3%	21.9%	20.3%	—
配当金	—	22.00	23.00	24.00	27.00 (予定)	28.00 (予想)	未定

26

# ご清聴ありがとうございました

## ＜注意事項＞

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。